

小諸市が国の「脱炭素先行地域」に選定されました

小諸市は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて、取組を推進しています。この度、小諸市が、環境省で選定する「脱炭素先行地域」に選定されましたのでお知らせします。

本日（4/28）、環境省より脱炭素先行地域選定結果（第3回）が公表され、小諸市が関係7者で共同提案した計画が16件の選定地域の1つとして脱炭素先行地域に選定されました。
※共同提案を含め67の地方公共団体から58件の計画提案中16件を選定
※第1回：26件・第2回：20件と合わせこれまでに全国で62件が選定済み

○環境省報道発表サイト url
https://www.env.go.jp/press/press_01538.html

○環境省脱炭素先行地域サイト url
<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/preceding-region/>

○小諸市提案計画概要

- 【タイトル】 みんなでつくる みんなにやさしい ゼロカーボンシティこもろ
～低炭素まちづくりから脱炭素まちづくりへ 持続的で活気ある地方小都市モデル～
- 【対象地域】 都市機能誘導区域全域（0.62 km²）
- 【主なエネルギー需要家】 戸建住宅 575 戸、民間施設 190 棟、こもろ医療センター、公共施設 21 施設
- 【共同提案者】 株式会社シーエナジー／株式会社URリンケージ／国立大学法人信州大学
／株式会社石本建築事務所／長野県厚生農業協同組合連合会浅間南麓こもろ医療センター
／独立行政法人都市再生機構

○市長コメント

本日、環境省が募集しておりました「第3回 脱炭素先行地域」に、本市を代表とした関係7者による共同提案計画を選定いただきましたこと、大変光栄に存じます。
本市計画の最大の特徴は、本市が長年取組んでまいりました「コンパクトシティ」の施策を、脱炭素の取組に発展させることで、地域資源と経済の循環を創出し、最終的にまちの持続性と活気を高めることを目指す点にあり、評価委員会からの講評においても、この点を評価・期待いただきました。
本市では、現在、長年のコンパクトシティの取組の成果として、市中心部での賑わい創出の萌芽が生まれつつあります。今回の脱炭素化の取組により、エネルギー利用の最適化による事業経済性の向上やレジリエンスの強化など、同地域の魅力向上を図り、さらなる賑わいの創出につなげる所存でございます。
今後、全国の類似団体の先駆けとして、新たな脱炭素化モデルを確立するべく、共同提案者を始めとした関係者との官民連携をこれまで以上に拡張し、取組を進めてまいります。

■問い合わせ先
小諸市役所 財政課 マネジメント推進係 担当：吉澤
Tel 0267-22-1700（内線 2344） Eメール management@city.komoro.nagano.jp

その他のイベント・お知らせ情報